

徳島県職員採用試験（民間企業等職務経験者）

第1次試験 論文試験について

- 1 出題数 1 問
- 2 解答時間 1 時間 3 0 分
- 3 文字数 約 1, 0 0 0 字
- 4 過去 3 年間の論文課題

令和 5 年度

【行政事務】

少子高齢化やコロナ禍からの経済活動回復等により、全国的に人手不足の状態である。

本県の高校を 2 0 2 3 年春に卒業した高校生の県内での求人倍率は 2 . 8 7 倍と過去 1 0 年間で最も高くなっており、コロナ禍の影響が薄まる中、今後、都市部への人口流出が再加速すれば、本県の人手不足に一層の拍車がかかることになる。

本県における人手不足解消に向け、どのような取組が必要か、あなたの考えを述べなさい。

【行政事務DX】

デジタル技術を用いて地域課題の解決に取り組む動きが全国で加速しています。本県における人口減少や労働力不足などの課題を解決するために、どのような方策が提案できるか、これまでの経験を踏まえて、あなたの考えを述べなさい。

【建築】

「カーボンニュートラルの実現」や「新型コロナウイルス感染症」など社会情勢の変化に伴い、住宅・建築行政を取り巻く環境も大きく変化しており、少子高齢化を始め、デジタル化・脱炭素社会への対応、南海トラフ巨大地震、空き家の増加など社会を取り巻く様々な課題に住宅・建築分野は深く関わっているところである。

このような住宅・建築分野における課題に対し、今後、必要と思われる取組について、あなたの考えを述べなさい。

【総合土木】

平成31年4月施行の改正労働基準法により、令和6年4月から建設業においても罰則付き時間外労働上限規制が適用されることから、建設業における働き方改革の推進が求められている。

このため、公共工事の発注者と受注者の双方が協力し、長時間労働の是正や生産性の向上など労働環境の改善に取り組んでいるところである。

そこで、建設業の働き方改革の更なる推進を図るために、発注者としてどのように取り組むべきか、これまでの経験を踏まえ、あなたの考えを述べなさい。

【保健師】

※試験未実施のため、課題はありません。

令和4年度

【行政事務】

地域課題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、行政のみならず、民間企業や地域住民等の多様な主体との連携や協働により、施策や事業に取り組むことが効果的である。

そこで、これら地域における多様な主体との連携や協働により解決すべき地域課題を挙げ、それぞれの役割や必要性、得られる効果について、具体的に述べなさい。

【行政事務DX】

スマートフォンをはじめとするデジタル機器の普及や高速通信ネットワークの拡大により、いつでも、どこでもデジタルを利用できる環境整備が進む中、誰もがその恩恵を享受できる「誰一人取り残されないデジタル社会」の実現が急務となっている。

例えば、高齢者や障がい者など機器操作に不慣れな方々に対するデジタル利活用の支援や、小中学校などでのタブレット利用やICT教育へのサポートなど、徳島県においてデジタル格差対策を進めるためには、具体的にどのように取り組んでいくべきか、これまでの経験を踏まえて、あなたの考えを述べなさい。

【建築】

「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、エネルギー消費量の約3割、木材需要の約4割を占める住宅・建築分野において、より一層のCO₂削減・吸収源対策が期待されている。

こうした背景を踏まえて、この課題を解決するため、これまでの知識や経験をどのように活かし、どのように取り組んでいくのか、あなたの考えを述べなさい。

【総合土木】

建設業界の深刻な人手不足が懸念される中、災害対策やインフラ老朽化対策など、県土強靱化を着実に進めていくためには、建設現場の生産性を向上させる必要がある。

また、新型コロナウイルス感染症を契機とし、建設現場においても「非接触・リモート型」への働き方の転換が求められている。

そこで、建設現場の生産性を向上させるため「ICT技術」の活用や「i-Construction」の普及拡大など、新技術導入をどのように進めていくべきか、これまでの経験を踏まえ、あなたの考えを述べなさい。

【保健師】

徳島県では、今後30年以内に70%の確率で発生すると予測されている南海トラフ巨大地震や近年の豪雨災害の頻発など、自然災害に対する健康危機管理対策の強化が求められている。

そこで、県民の命と健康を守るため、災害時に備え、県の保健師としてどのような活動が必要であるか、これまでの経験を踏まえ、あなたの考えを述べなさい。

令和3年度

【行政事務】

「新型コロナウイルス感染症」により、人流の抑制や県境をまたぐ移動制限が行われる中、「地域の活動」や「各種イベント」のあり方が大きく様変わりし、地域経済への影響も深刻なものとなっている。

今後、アフターコロナを見据え、これらの活動やイベントを持続可能なものとして継続し、地域を活性化していくために、デジタルの活用や新たな手法による開催方法について、これまでの（職務）経験を踏まえ、「具体的な方策」と「その効果」について述べなさい。

【行政事務DX】

令和2年12月に総務省が策定した「自治体DX推進計画」における自治体の取組内容として、推進体制の構築が挙げられ、テーマとして

- 組織体制の整備
- デジタル人材の確保・育成
- 計画的な取組み

○都道府県による市区町村支援
が示されている。

それぞれを実施するにあたっての方策について所見を述べなさい。

【建築】

本県において、人口減少や空き家の増加等による地域の活力や魅力の低下への懸念に対し、空き家の利活用の促進や、林業や建設産業等の地域経済を支え、豊かな森林の継承に寄与する県産木材を用いた良質な木造住宅の振興を通じて魅力ある住文化の振興や住環境の形成による地域の活性化を進め、「地方創生」を加速させる必要がある。

そこで、建築・住宅行政の観点から「地方創生」を加速させるため講じるべき方策について、あなたの考えを具体的に述べなさい。

【総合土木】

高度成長期以降に整備されたトンネルや橋梁等、社会インフラの老朽化が進む中、これら施設を適切に維持管理していくことは喫緊の課題である。

本県では、インフラの定期点検を行い、その結果に基づき長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を進めているものの、将来にわたり安全性を確保していくためには、AIやIoTなど、先端技術を活用し、メンテナンスコストの縮減や平準化を図っていく必要がある。

そこで、社会インフラの老朽化対策について、今後、どのように進めるべきか、これまでの経験を踏まえ、あなたの考えを述べなさい。

【保健師】

少子・高齢化が進行した徳島県における健康課題を1つ挙げ、県の保健師としてどのような施策が必要か、これまでの経験を踏まえ、あなたの考えを述べなさい。